

個性と能力を發揮し、誰もが輝くために
 知っておきたいキーワード……………②

【デートDV】

暴力は、身体的な(体への)ものだけではなく
 相手を支配しようとする行為は暴力です

お付き合いしている相手を「怖い」と感じたり、「付き合っていることがつらい」と感じたりしたことはありませんか？ それはデートDVのサインかもしれません。

DVはドメスティック・バイオレンスの頭文字です。夫婦など親密な関係にある人の間に起きるさまざまな暴力を指します。そして、皆さんのように若い年代の交際中の二人に起きるDVをデートDVといいます。

「なぜ好きな人に暴力を振るうの？」と不思議に思う人もいるかもしれませんがね。暴力は、身体的暴力だけではなくあります。相手を思い通

りに支配しようとする、右ページにあるような行動は全て暴力です。

デートDVは、「女子(男子)はこうあるべき」といったジェンダー・バイアス(前ページ参照)や、「束縛は愛して(されて)いる証拠だ」という間違った認識が影響しているといわれています。そのために、暴力行為を受けて(して)いることに気付かず、支配関係が続くこともあります。

DVやデートDVは人権問題です。はあもにいは、「対等で安心」な交際を応援する、デートDV予防の取り組みを行っています。本誌巻末にはDV相談窓口も紹介しています。



暴力にはさまざまなものがあります

精神的な
(心への)暴力

- 怒鳴る ●無視する
- バカにする
- 行動や交友関係を監視・制限する
- スマホをチェックする など



身体的な
(体への)暴力

- 殴る、蹴る ●腕を強くつかむ ●首を絞める
- 髪を引っ張る ●物を投げ付ける など

経済的な
(お金にからむ)暴力

- 一方的にお金を借りる
- 借りたお金を返さない
- デート代をすべて払わせる
- 高価なプレゼントを要求する など



性的な暴力

- 相手が嫌がるのに体を触ったり、性的な行為を強要する
- 避妊に協力しない
- 下着姿や裸の画像・動画を勝手に撮る、撮ったものを送らせる。またその画像・動画を使い、脅す
- 性的な動画を見ることを強要する など



本当に愛？



「はあもに通信」92号
 「男と女の△劇場」(画/ブンノ絵巳)から